

## ASTM 形編地の伸張回復性試験機

Section. 2

Cat. No. SE - 17

= 準拠規格 = ASTM D 2594 (伸張力の小さい編物の伸張回復性試験方法)

= 用 途 = 本伸張回復性試験機は、ASTM D 2594 の規格に基き、定伸張法(Growth)、定荷重法(Strength)の試験を1台の装置で行える様、設計・開発致しました。  
主にこれらの試験は、ルーズフィット製品(スポーツウェア、ドレスシャツ、ビーチウェア等のニット生地)やセミサポート製品(水着、インナー製品等のニット生地)に多く用いられます。定伸張法試験では、ルーズフィット製品/コース方向;30%、ウェール方向;15%、セミサポート製品/コース方向;60%、ウェール方向;35%の伸びを試料に与え、2時間後除重し、その後1分後及び1時間後のたるみ率(%)を計測致します。  
又、定荷重法においては、ルーズフィット製品/コース方向、ウェール方向共2270gf(5ポンド)、セミサポート製品/コース方向、ウェール方向共4540gf(10ポンド)の荷重を5回加重、除重を4~6秒間隔で繰返し、5回目の加重が終わった時点から加重状態で5~10秒間放置し、元の長さに対し伸びを読取り、伸張率を求めます。

= 特 徴 = この一台で定伸張法(Growth)及び定荷重法(Strength)の両方の試験が行え、定伸張法(Growth)では4個(IT-8WSの場合は8個)の試料が同時に掛けられ、その試験中でも定荷重法(Strength)試験が行えます。装置は耐荷重に対し非常に頑丈に設計してあるだけでなく、定伸張法試験用としては旧式の装置の様に上下ハンガーに試料をかけた下部ハンガーをロープで引張りそのロープをロープチャックで固定さず様な面倒な操作が不要で定位置固定用ワンタッチクランプ採用により、簡単に任意の位置にて固定する事が可能です。又、定荷重試験用としても旧式の装置は、下部ハンガーにバネばかりをかけ加重していましたが、加重の不均一さが多く発生しており、弊社製品は実荷重を掛ける事で常に規定の荷重を試験片に与える事が出来る様になりました。

= 仕 様 =

- 型 式 : IT-4WS  
(定伸張法 4 個、定荷重法 1 個)  
IT-8WS  
(定伸張法 8 個、定荷重法 1 個)
- 試 験 片 : 125mm X 500mm  
(コース方向及びウェール方向各 5 枚)
- ク ラ ンプ : 定伸張法試験用定位置固定用  
ワンタッチクランプ
- 荷 重 : 定荷重法試験用 ; 2270gf(5ポンド)、  
4540gf(10ポンド) 各 1 個  
\* 荷重バー、ワイヤー重量含む。
- 寸 法 : 800W X 800D X 1950Hmm  
IT-4WS, IT-8WS 共
- そ の 他 : ご希望により上記定伸張法 4 個、  
8 個以外の掛数の製作も可能です。



\* 改良の為、仕様・外観は予告なく変更する場合があります。